

# 平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 15 年 8 月 28 日

上場会社名 京王電鉄株式会社

(コード番号:9008 東証第一部)

(URL http://www.keio.co.jp)

代表者 取締役社長 加藤 奂

問合せ先責任者 総合企画本部

経理部経理担当課長 伊沢 衛

(TEL(042)337-3135)

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有

・中間連結財務諸表の作成基準をベースとしつつ、税金等調整前当期純利益に実効税率を乗じた税金費用を法人税等として計上するなど、一部簡便的な手続きを採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有

・連結（新規）2社：京王バス中央(株)、京王ユースプラザ(株)（新規設立による増加）

・持分法（除外）1社：(株)京王バンケットサービス（合併による減少）

## 2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨て表示)

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16 年 3 月期第 1 四半期	102,231	9,615	8,341	4,816
15 年 3 月期第 1 四半期				
(参考)15 年 3 月期	419,919	35,826	29,615	14,785

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16 年 3 月期第 1 四半期	7.57	
15 年 3 月期第 1 四半期		
(参考)15 年 3 月期	22.96	22.92

(注)四半期業績の概況の開示は当第 1 四半期より行っているため、前年同四半期実績につきましては記載しておりません。

### [ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第 1 四半期のわが国経済は、一部に回復の兆しが見え始めているものの、デフレの深刻化、雇用に対する不安などから個人消費は依然として厳しい状況となりました。

このような情勢のもとで、当社グループでは「京王グループ理念」を具現化するため、当期を初年度とする「連結中期経営計画(平成 16 年 3 月期～平成 18 年 3 月期)」の達成に向けスタートいたしました。

当第 1 四半期の結果は、厳しい経済環境を反映し、連結営業収益は 1,022 億 3 千 1 百万円となり、当初の業績予想を若干下回りましたが、利益面では、効率的な経営に努めた結果、営業利益は 96 億 1 千 5 百万円となり、業績予想を上回りました。

経常利益、当期（四半期）純利益はそれぞれ、83 億 4 千 1 百万円、48 億 1 千 6 百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

運輸業においては、鉄道事業の輸送人員が、沿線の商業施設の効果や JR 競合区間を含む直通旅客の増などにより業績予想、前年同期をとともに上回り、引き続き堅調に推移いたしました。これらにより、運輸業全体の営業収益、営業利益は業績予想を上回りました。

流通業においては、個人消費が依然として厳しい状況ながらも、「キッチンコート神楽坂店」の新規出店や既存店舗の改装を行ったストア業や百貨店業などで増収に努めた結果、流通業全体の営業収益、営業利益はほぼ業績予想どおりとなりました。

不動産業は賃貸業が中心であり、ほぼ業績予想どおり推移いたしました。

レジャー・サービス業においては、6月に「プレッソ イン神田」をオープンし、好評をえているものの、旅行業、ホテル業において新型コロナウイルス SARS などによる深刻な需要減退の影響を受け、レジャー・サービス業全体の営業収益、営業利益は業績予想を下回る結果となりました。

その他は、建設・土木業で季節的変動もありましたが、営業収益、営業利益はほぼ業績予想どおりとなりました。

## (2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	532,440	173,306	32.5	272.20
15年3月期第1四半期				
(参考)15年3月期	530,799	167,723	31.6	263.28

(注)四半期業績の概況の開示は当第1四半期より行っているため、前年同四半期実績につきましては記載しておりません。

### [財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期においては、総資産は、投資有価証券の時価が増加したことなどにより、前期末に比べ16億4千万円増加し、5,324億4千万円となりました。また、有利子負債につきましては、借入金返済により前期末に比べ32億7千9百万円減少し、2,165億8千4百万円となりました。

株主資本は、その他有価証券評価差額金や当期（四半期）純利益の増加などにより55億8千3百万円増加し、1,733億6百万円となりました。

## 3.平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	207,000	14,200	7,600
通期	429,000	27,100	14,400

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 22円47銭

### [業績予想に関する定性的情報等]

現時点において業績予想の見直しは行っておりませんので、前回発表時（平成15年5月26日）の予想を変更しておりません。

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

添付資料

(1) 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円，百万円未満切捨て表示)

期 別 科 目	当第1四半期 (平成15年6月30日現在)		前 期 (平成15年3月31日現在)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
( 資 産 の 部 )		%		%	
流 動 資 産	86,932	16.3	84,895	16.0	2,036
現 金 及 び 預 金	24,269		25,903		1,634
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	25,163		25,127		35
た な 卸 資 産	29,892		26,807		3,084
そ の 他	7,607		7,056		550
固 定 資 産	445,507	83.7	445,903	84.0	396
有 形 固 定 資 産	386,144	72.5	388,981	73.3	2,837
土 地	92,381		88,350		4,031
建 設 仮 勘 定	17,119		20,778		3,659
そ の 他	276,643		279,853		3,209
無 形 固 定 資 産	3,920	0.8	4,060	0.7	139
投 資 そ の 他 の 資 産	55,442	10.4	52,862	10.0	2,580
投 資 有 価 証 券	37,005		32,111		4,894
そ の 他	18,436		20,751		2,314
資 産 合 計	532,440	100.0	530,799	100.0	1,640
( 負 債 の 部 )		%		%	
流 動 負 債	130,583	24.5	131,916	24.9	1,332
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	16,011		20,397		4,386
短 期 借 入 金	54,716		54,935		219
そ の 他	59,855		56,582		3,272
固 定 負 債	216,918	40.8	218,952	41.2	2,033
社 債	50,000		50,000		-
長 期 借 入 金	102,241		105,301		3,059
退 職 給 付 引 当 金	34,565		33,660		904
そ の 他	30,112		29,990		121
特 別 法 上 の 準 備 金	11,144	2.1	11,730	2.2	586
特 定 都 市 鉄 道 整 備 準 備 金	11,144		11,730		586
負 債 合 計	358,646	67.4	362,599	68.3	3,953
( 少 数 株 主 持 分 )					
少 数 株 主 持 分	486	0.1	476	0.1	10
( 資 本 の 部 )					
資 本 金	59,023	11.1	59,023	11.1	-
資 本 剰 余 金	42,019	7.9	42,019	7.9	-
利 益 剰 余 金	69,071	13.0	66,578	12.6	2,493
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	7,223	1.3	4,124	0.8	3,098
自 己 株 式	4,031	0.8	4,022	0.8	8
資 本 合 計	173,306	32.5	167,723	31.6	5,583
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	532,440	100.0	530,799	100.0	1,640

( 2 ) 四半期連結 ( 要約 ) 損益計算書

( 単位 : 百万円 , 百万円未満切捨て表示 )

期 別 科 目	当第1四半期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年6月30日〕		前 期 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
営 業 収 益	102,231	100.0	419,919	100.0
営 業 費	92,616	90.6	384,093	91.5
営 業 利 益	9,615	9.4	35,826	8.5
営 業 外 収 益	467	0.4	2,294	0.6
受取利息及び配当金	252		539	
雑 収 入	214		1,755	
営 業 外 費 用	1,741	1.7	8,505	2.0
支 払 利 息	1,368		6,132	
雑 支 出	372		2,373	
経 常 利 益	8,341	8.1	29,615	7.1
特 別 利 益	612	0.6	3,909	0.9
特 別 損 失	411	0.4	6,977	1.7
税金等調整前当期純利益	8,541	8.3	26,546	6.3
法 人 税 等	3,714	3.6	11,726	2.8
少 数 株 主 利 益	10	0.0	35	0.0
当 期 純 利 益	4,816	4.7	14,785	3.5

参 考 資 料

( 1 ) セグメント別営業収益と営業利益

( 単位：百万円、百万円未満切捨て表示 )

	営 業 収 益		営 業 利 益	
	当 第 1 四 半 期 〔自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 6 月 30 日〕	進 捗 率	当 第 1 四 半 期 〔自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 6 月 30 日〕	進 捗 率
		%		%
運 輸 業	33,044	25.5	6,586	35.4
流 通 業	49,739	24.9	1,724	35.7
不 動 産 業	5,599	23.9	1,574	27.0
レジャー・サービス業	20,331	21.2	123	4.5
そ の 他	4,814	11.3	288	27.5
連 結 消 去	11,296	-	141	-
連 結 財 務 諸 表	102,231	23.8	9,615	29.4

- (注) 1.各セグメントの営業収益・営業利益の数値には、連結内部取引を含んでおります。  
2.進捗率は、連結内部取引を含んだ年間業績予想に対する数値であります。

( 2 ) 鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入

			当 第 1 四 半 期 〔自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 6 月 30 日〕	前 第 1 四 半 期 〔自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 6 月 30 日〕	増 減 率
輸 送 人 員	定 期	千人	92,398	91,678	% 0.8
	定期外	"	63,271	62,227	1.7
	計	"	155,669	153,905	1.1
旅 客 運 輸 収 入	定 期	百万円	8,364	8,238	1.5
	定期外	"	11,031	10,873	1.5
	計	"	19,396	19,111	1.5